

折に触れ 四字熟語

NO. 204 『虚心坦懐』 きょしん たんかい

< 意味 > 心になんのわだかまりもなく、気持ちがさっぱりしていること。心にわだかまりがなく、平静に事に望むこと。また、そうしたさま。

表 言 : 虚心坦懐に意見を聞く。

用 例 : 私は虚心坦懐に、出来れば兵頭のために有利なように願おうとした。

<小島信夫・憂い顔の棋士たち>

語 釈 : 「虚心」は心に先入観やわだかまりがなく、ありのままを素直に受け入れることのできる心の状態。「坦懐」はわだかまりがなく、さっぱりとした心。平静な心境。

一 言 : いつもこういう心の状態でいたいものです。11月23日付けの goo 辞書四字熟語のランクでは1位になっていました。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」